

ともに・・・

R7. 6. 3

自ら考え挑戦し ともに高め合う 北杵築っ子の育成

自分たちの手で学校生活をよりよいものに

5月23日(金)、今年度初めての代表委員会がありました。この代表委員会は、1年生を除く各学年の代表と各種委員会の代表により組織され、児童会行事の企画やよりよい学校生活を送るためのきまりや取組、その他要望やアイデアなどについて、児童会主体で協議し、決定・実践していくための話し合いの場です。

今回は、事前に運営委員会から以下の2つの提案があり、各クラスで話し合ってもらっています。

(1) 6月のめあてについて

①廊下・階段を静かに歩こう

- ・走ったら他の人にぶつかったり、こけたりして危ないから
- ・最近廊下を走っている人がいて、どたばたしている音がうるさいから

② 雨の日は、室内で静かに遊ぼう

- ・室内でうるさくしていたら、他の教室に迷惑をかけてしまうから

(2) 挨拶運動の取組

☆各教室を回り、挨拶をしてグータッチをする挨拶動をしよう

月曜日：1年生・6年生 火曜日：2年生・3年生

木曜日：4年生 金曜日：5年生

- ・全校一人一人がみんなと向き合った挨拶ができると、さらに仲よくできると思ったから

①②については、「走っている人を見かけて、危ない」「廊下を走っていると、曲がり角でぶつかるかもしれないから危ない」「歩くとけがが少なくなる」「叫び声や大声はうるさくて迷惑をかけてしまう」等の理由から、どのクラスも賛成とのこと。6月のめあてが決定しました。



(2)については、開始時刻について話題になりましたが、挨拶運動は、「挨拶をすると元気になるから」「全校の友達に挨拶ができる気持ちがよくなるから」と、どのクラスも賛成となり、実施することとなりました。

協議の最後の「各学級からのお知らせ」の中で、2年生と4年生の代表から、「トイレのスリッパが崩っていない

ことがあるので、揃えてください」とのお願いが出されました。このように、学校生活の中の気づきを見出し、みんなでよりよくしようと提案しています。すばらしいことだと思います。

お願いをしっかりと受け止めた各学年の代表です。自分たちの手で学校生活をよりよくしようという芽が育ち、とてもたのもしく思いました。

このような代表委員会の場でも、学校教育目標の“自ら考え挑戦し、ともに高め合おう”とする姿が見出されています。



交通安全教室を実施しました

5月23日(金)、交通安全協会の方を講師にお招きし、交通安全教室を実施しました。1・2年生は道路の歩行や横断の仕方について、3～6年生は自転車の正しい乗り方と交通ルールについて、それぞれに学びます。

1・2年生は、はじめに体育館で、“歩道や路側帯では車から遠いところを歩く” “信号のある横断歩道では、信号が青になった後、左右を見て安全を確認してから渡る” “信号が赤の時には、歩道から大きくさがったところで待つ”等、安全な歩行や横断の仕方・待ち方を説明してもらいます。

その後、実際に外に出て、小学校から下の道路までの道を安全に歩く練習です。みんな一列になり、講師の方に続き路側帯の中を歩きます。

旧幼稚園の出入り口に差しかかりました。立ち止まり、講師の方が、「車が出てくるかもしれないから、一旦止まって車が来ていないか確認してから通過して下さい」と子どもたちに指導し、見本を見せています。子どもたちは一人一人その姿を真似して安全をきちんと確認し、前に進みます。出入口は交差点ではありませんから、大人の私たちでさえ安全確認しないまま通りがちで、気を付けたいところです。



列の後ろから実際に車の音がしてきました。「振り返ったり、立ち止まつたりして車を確認するように」との講師の方の声。子どもたちも後ろからやってくる車を確認しています。

最後に、横断歩道も渡ってみました。

みんな講師の方の教えを守り、安全を意識しながら歩くことができたようです。

交通事故が後を絶ちません。ちょっとした油断が命取りです。かけがえのない命を守るために、今回の学びを忘れず、危険を予測し、回避する力を発揮しながら、安全な生活を送ってほしいと願うばかりです。